ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.203

発　行　日　　令和５年５月31日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,609名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

この２年間の士会活動、そして次へ

公益社団法人　新潟県理学療法士会
副会長・社会職能局長　**中　山　裕　子**

会員の皆様方におかれましては、この２年間はCOVID－19の流行の中、万全の感染対策と業務の両立に苦労されたことと存じます。新年度では感染対策が見直され、以前の生活を取り戻してきている中、高齢者を対象とされている職場においては、未だ予断を許さない状況が続いております。どうか皆様も体調に留意されお過ごしくださいますようお願いいたします。

私は副会長として会長を補佐、また社会職能局長として活動しております。この２年間の士会活動について２点振り返り、今後の体制について紹介したいと思います。まず、会長の掲げた目標である「管理者ネットワークの構築」についてですが、この数年間、重点的に取り組んでまいりました。2021年度に６ブロックとし、ネットワーク構築が進んでいたブロックを参考に横展開してきました。2022年度にはブロックそれぞれで研修会やブロック内会議、連絡会等を実施するに至り、事業を進展させることができました。今年度からは、社会職能局にブロック事業部を移し、担当理事を配置しさらなる進化を図ります。ブロック研修会では、会員の皆様の身近な疑問の解決や情報交換などをテーマに、工夫を凝らした内容にしていただいています。例えば、士会活動の紹介、新生涯学習システムの説明と質疑応答、災害対策、地域包括ケアシステムに関する各地域での活動紹介等がそれにあたります。士会の目標でもあります、入会者、休会者、退会者の対策には、このネットワーク構築とブロック単位での活動が重要になると考えております。今後とも会員の皆様の協力をよろしくお願い申し上げます。

もう１点は昨年度から開始した、高年齢労働者就労支援モデル事業についてです。これは、協会主導で始まった事業で、全国で新潟を含め３県士会が取り組んでいます。新潟県士会では、①高年齢労働者の身体的問題を支援し、安心して長く就労できる身体的環境を整えること、②士会運営のための外部資金の獲得、③理学療法士の雇用（活躍）の場の創出を目標に、「高年齢労働者のための転倒、腰痛、膝痛予防」をテーマに、講演、体操体験、個別指導等を計９事業所で行いました。参加いただいた労働者の皆様の中には、身体的問題を抱えた方が一定数あり、理学療法士が予防で活動する余地が大いにあると感じています。まだ試行錯誤の部分もありますが、今年度から労働者就労支援委員会を設立し継続して活動してまいります。多くの会員の方に参加いただき、より地域社会との関わり、県民との関わりを感じていただきたいと思います。

最後に、今年度は新たな理事に就任いただき、一部新組織体制で活動してまいります。対面での事業を中心に、リモートでの研修会も継続してゆきます。会員の皆様への情報発信もより強化してまいりますので、気になる事業、研修会、イベント等がありましたら是非ご参加ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

目　　次

この２年間の士会活動、そして次へ…… 1
リレーエッセイ…… 2
2022年度公益社団法人新潟県理学療法士会
第５回拡大理事会議事録…… 3
2022年度公益社団法人新潟県理学療法士会
第６回理事会議事録…… 5
第39回　新潟シティマラソン2023…… 7
学術局生涯学習部だより…… 8
厚生部より「祝電申込書」についてのお知らせ　… 12
育児休業割引、シニア割引のご案内…… 12
事務局ニュース…… 13
広報部ニュース…… 14
編集後記…… 14

リレーエッセイ 1

「私の大好きな新しい趣味」

下越病院　目　黒　昂　太

私には趣味が幾つかありますが、新しい趣味が出来たので紹介させて頂きます。最近、スポーツ自転車を購入しました。本格的なスポーツ自転車に乗るのは勿論、自転車自体が約８年ぶりでした。ただ、乗ってみると直ぐに慣れ、最近では自宅から30分かけて職場へ通える様になってきました。今後は、より遠くに出かけてみようと思っています。

さて、改めて自転車に乗る際の注意点を調べてみると意外と知らない規定やルールがあったので皆さんにも共有したいと思います。自転車は道路交通法上、車両となり原則として車道を通行、車道の左側を通行します。新潟県では、「新潟県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」によって、自転車利用者の保険加入が義務化されました。また道路交通法の改正が行われ、令和５年４月１日より「全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化」となります。これらの規定は子供だけで無く、全ての自転車利用者が対象となっています。安全で安心な自転車利用の為、ルールを守って自転車に乗っていきたいと思います。

次は阿賀野市民病院の曽田健介さんです。

リレーエッセイ 2

「スポーツ観戦」

長岡西病院　桑　原　佑　弥

私の趣味はスポーツ・格闘技観戦です。バスケ、サッカー、野球、ボクシング、キックボクシングなど幅広く興味があり、TVや動画配信サービスを利用して観戦しています。MLB選手大谷翔平やプロボクサー井上尚弥など、様々なスポーツで日本人選手の台頭もあり、世界での活躍を見るととても嬉しくなります。

最近はサッカーのアルビレックス新潟の活躍を追っています。昨年度Ｊ２で優勝し、今年度からは６年ぶりのＪ１での戦いとなっています。Ｊ１の舞台ですので、簡単にはいかないとは思いますが、地元のスポーツチームとして頑張ってほしいと思います。

このご時世もあり、現地での観戦が減り、動画配信サービスでの観戦が多くなっていましたが、規制が緩和されつつありますので今年は現地に足を運べたらと考えています。皆さんも是非現地に足を運んで頂けたらと思います。きっと虜になりますよ。

次回は岩室リハビリテーション病院の武士俣涼香さんです。よろしくお願い致します。

2022年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第５回拡大理事会議事録

日　時：2023年１月21日　10：00～16：00
場　所：新潟県理学療法士会事務局およびwebにて実施
参加者：
理事　佐藤成登志、中山裕子、髙鳥真、郷貴大、小林諭、田村友典、柳保、田中健、立石学、大野智也、棚橋泉、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、上路拓美、山本典子（11：20～）
ブロック長　荻井夏江、本間宏彰、松本香好美、諏訪和彦、高野義隆
委員長　深川新市、五十嵐進、石井康明
監事　堀川武範

１　会長挨拶
２　報告事項
１）各部局から事業報告・今年度の今後の事業計画について資料を基に報告。

＜障がい児・者支援委員会＞

立石：１月22日実施の研修会について、県外も含めて参加者定員50名は少ないのではないか。希望者で申し込めない人がいたようだが。

石井：委員会で企画するときに作業上の問題で50名にしたが、今後は定員について検討したい。

佐藤：新潟県士会主催の研修会なので、県士会員が参加できるようなやり方を検討してほしい。

＜政治参加検討委員会＞

佐藤：田中まさし氏の繰り上げ当選に伴い、会員に周知したうえで、会員の要望や意見が田中氏に届くようなシステムを検討してほしい。

五十嵐：これから実施していきたい。

２）その他報告事項

＜関東甲信越ブロック協議会の事務局について＞

佐藤：関東甲信越ブロック協議会の事務局について、４月から当士会が担当になる。それに伴い、様々な事務作業が増えるので、皆様にご協力いただきたい。

＜県の立ち入り調査について＞

佐藤：２月10日13：30～県の立ち入り調査があり、佐藤、郷、小林、田村で対応する。

＜助言者のための手引きの改定について＞

棚橋：手引き改定に関しては、ほぼ案が出来上がってきており、県の担当者に報告をしたところ、資料の引用や、内容の方向性に関して、県の意向と委員会の意向にずれが生じているのではないかと指摘された。１月下旬に改めて代表者とOTの村山氏を含めて意見交換をする予定。年度内完成の予定でいたが、場合によっては完成時期が来年度にずれ込む可能性もある。

大野：今までは、作成に関する会議で、県の担当者が参加していたが、今回の改定に関する会議では、県の方が参加しない状態で進めたことで疑義が生じたと考えているので、修正していきたい。

佐藤：この事を踏まえ、会議のメンバーや、会議の主催者について、今後は検討しなければならない。

深川：県としては、手引書の副読本のような位置づけで、各市町村が自分たちの資料で作るのは構わないが、県の手引書である以上、その中に県の意向（厚生労働者の資料を引用）とは違う資料は入れない、という考えがあるのだと思う。

３　協議事項
１）2023年度事業計画・予算検討について資料を基に報告

＜会長からの活動計画の骨子に関して＞

（領域別専門部会について）

石井：領域別専門部会についてどのような条件で設置し、どのようなことが実施されているか。

髙鳥：今年度専門部会の企画運営者の募集をして、３領域（糖尿病・運動器・心血管）の応募があった。今後も募集をして、それぞれ独立した委員会として運営ができるようにしたい。設置の大きな目的は、県士会員が、専門、認定の資格取得をしやすい研修会を運営することであると考えている。

石井：認定、専門を持っている会員が構成していくのか。現在の委員会との関係はどう考えたらよいか。

髙鳥：専門部会の運営メンバーは、認定・専門を持っている会員になる。一般の会員全般に募集していきたいが、もちろん委員会のメンバーも手を挙げていただきたいと考える。

飯田：委員会のメンバーだけよりは、研修会のアイデアが広がると思う。

大野：地域包括では、研修会の申し込みの部分で、協会のシステムがわからず苦戦している。生涯学習部員にその部分を担って頂けたらよいが。

髙鳥：会員管理につながるPCがあれば管理はしやすいが、そのPCの管理をどうするかは検討している。使用許可については、検討しなければならない。当面は生涯学習部が協力する。

藤澤：専門部会の話は、県士会の組織再編成と関連してくると考えるが、会長のお考えはどうか。会員のための活動と、県民に向けての活動をどこが

担うのか。

佐藤：会員の生涯学習に関することを独立させ、公益事業は今まで通りに県士会でやっていくというイメージである。

髙鳥：最終的には生涯学習センターを立ち上げられたら良いが、まだまだ遠い目標なので、当面は領域別専門部会を立ちあげることを目標とする。来年度は、小児、スポーツの部門で公募することとする。

上路：方向性としていい取り組みなので、ぜひ会員に対してわかりやすい形で広報していただきたい。

（高年齢労働者就労支援モデル事業について）

中山：今年度の実績を経て、産業保健センターとシルバー人材センターの二つのルートで実施していくことになる。産業保健センターの方では、来年度は調査研究として応募しており、外部資金100万円を獲得する予定。内容は、これまでの講演等に加え、５業種350～400名の参加者の身体測定をする予定。身体測定については、協会で実施している内容を見学し、検討していく。2024年度も、効果判定に関する研究として申請し、2025年度からは士会で運営することになる。シルバー人材センターの方は、十日町での身体測定を開始するが、シルバーセンターからの出資金と併せ、協会からも補助を頂いていきたい。事業実施者の人材バンクに関しては、誰でもいいということではなく、顔の見える関係の中で、人材育成をしていかなければいけないと考えている。

郷：事業計画としては、産業保健支援委員会（仮称）としての事業と考えればよいか？

中山：そう考えている。産業保健センターが進める調査研究や国が進める政策にもリンクするよう協会からの指示を受けている。当士会ではその方向で進められそうである。

髙鳥：３月25日ユニゾンプラザで、この事業について研修会予定（ハイブリッド）。これまでの成果とこれからの方向性、実際どんな風にやっているかについて報告したい。

大野：フレイル事業とも共通することであるが、事業に関する事務機能はどこが担っているか。

佐藤：現在は会長・副会長が事務代行している。

深川：外部から入ってくる資金について、県士会の事業費として一度県士会会計に入れるのか、別で管理して余剰分を収入として入れるのか。もし、公益事業とするのであれば、本体会計にいったん入れないといけない。

佐藤：結果的にはどちらも同じだが、財務部の負担を考えると、それぞれの担当者が収支して、利益分を入れる方がよいか。会員への日当に関しては各事業でばらつきがないように、決めていきたい。

小林：新潟県士会として事業を委託しているため、収入が決まっているのであれば、委託金として予算にあげてほしいが、未確定な部分があれば、補正予算で対応してほしい。

（郡市医師会との連携について）

本間：医師会との連携について具体的にはどんな内容か。佐渡の現状では開業医の先生方が高齢で、リハビリとの関わりがない方が多い。

佐藤：各地域での活動を各地域の医師会の先生方に理解していただくことが目的。そのために、会長・副会長と、ブロック長が協力して訪問していきたい。

＜総務部・厚生部の事業に関して＞

藤澤：電報の利用に関しては、若い世代の会員が、電報を必要としていないのではないか。１年かけて、ニーズに合わせた方法を検討していきたい。

佐藤：とりあえず、制度としてあるため、ホームページなどで広報はしていただきたい。シニア割引、育児休業割引の利用、入会の促進などに関しても同様。

田中：入会オリエンテーション実施の有無に関して、協会から調査があるが、例年実施していない。５月の前期研修を始める前に、総務部と協力して入会促進活動を計画したい。

＜学術局　講師謝金に関して＞

髙鳥：前回の理事会で討議したが、今回の配布資料に案を示したので問題なければそのように決定したい。（資料参照）

JPTAの会員は、専門・認定理学療法士、登録理学療法士、それ以外の会員により区別、理学療法士であっても非会員の場合は謝金なしとする。

佐藤：会員の会費で運営しているため、会員と非会員の区別はしっかりしていきたい。

小林：謝金で５万円（年間合計）を超える方は、マイナンバーを提出していただきたい。現在の支払い調書は、マイナンバーの記載欄がないため、改定を考えている。

中山：マイナンバーを頂いたときは、個人情報であるため、封をして金庫で保管するなどして、取り扱いに注意しなければならない。

＜就業支援部　復会時の研修先について＞

佐藤：就業支援部で、復職予定者が研修できる施設について調査していたと思うが。

上路：調査した時には、受け入れ施設が４か所しかなかった。この事業を開始する前に受け入れ施設を再度調査したい。

＜公益事業部　理学療法の日キャンペーンについて＞

佐藤：ブロック担当者会議で、理学療法の日に、各ブロックで独自に全てやるのではなく、基本方針は全体で示してほしいという要望があった。

柳：各ブロック長の負担があまり大きくならないよう、公益事業部員と協力してやっていきたい。

＜災害対策委員会　必要備品について＞

藤澤：小野塚委員長より、来年度は、災害時に会員が各自持ち出していた血圧計やパルスオキシメーターを県士会で整備していきたいとの報告があった。

郷：事務局のスペースの問題もあり、各部局での備品について、共用についても考慮していただきたい。

＜地域活動推進委員会　地域活動推進協議会予算について＞

深川：国からの予算の減額に伴い、県が予算を減額するという話が出たが、現在交渉中。

佐藤：国から県、県から市町村へ移行する場合に、予算が減額になると、事業が成り立たないため、きちんと話し合っていきたい。

＜学会準備委員会　来年度の学会日程について＞

立石：2023年度の学会の開催予定が３月ということで、学術誌の発刊に余裕がない。様々な事情があると思うので、それを考慮した形で、最初から進めていく。

堀川：財務も年度末は決算期で非常に繁忙であるため、考慮した日程（3月上旬）にしていただきたい。

髙鳥：了解している。

＜障がい児・者支援委員会　専門家派遣について＞

佐藤：学校教育の分野に関して、県議会議員に対し、専門職の支援が必要なことをお伝えしていきたいので、今後も石井委員長と情報共有していきたい。

＜政治活動推進委員会の活動について＞

藤澤：会員にとっては、議員を応援するというより、具体的な政策協定を前面に出した方が応援しやすいのではないかと思うが。

五十嵐：より具体的な政策協定を出すための雛型を作っていくとわかりやすいだろう。

髙鳥：議員との意見交換会に役員が参加しているが、今後、会員が直接参加できるような企画はあるか？

五十嵐：今のところはないが、今後検討する必要がある。

＜来年度予算に関して＞

小林：事務所の修繕等の積み立てに関しては、内容を検討しつつ、特定資産についてさくら会計に相談する。

上路：様々な積み立てに関して、長年の間に積み立ての目的がずれてきているものもある。さくら会計と相談して、積み立て名目について修正してほしい。

立石：地域派遣事業に関しては、所属施設に対し、外勤することを説得できる程度の金額になるよう、派遣費を検討してほしい。

佐藤：情勢等を見ながら検討したい。

⇒来年度予算の修正については、協議の結果を検討、次回理事会までに修正する。

３）その他

＜全体予算の考え方について＞

堀川：新規に始める事業については、全体の予算の中でどの部局での支出にするかを工夫して整理することで、公益事業での支出とすることができるので見直すとよい。

小林：工夫して整理していきたい。

会長　佐藤成登志
監事　太田　智英
　　堀川　武範
以上

2022年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第６回理事会議事録

１．開催場所　公益社団法人　新潟県理学療法士会事務局（Web会議）
１．開催日時　2023年３月12日（日）10：00～14：20
１．理事数　現在の理事数　19名
　　出席理事数　17名
　出席者氏名　佐藤成登志、中山裕子、髙鳥真、郷貴大、深川新市、五十嵐進、立石学、松林義人、小林諭、田村友典、田中健、大野智也、上路拓美、小川恵一、飯田晋、藤澤明彦、山本典子
　欠席者　柳保、棚橋泉
１．監事数　現在の監事数　２名
　　出席監事数　２名
　出席者氏名　太田智英、堀川武範
１．議長氏名　佐藤成登志
１．議題・報告事項
第１号議案　2022年度　各部1,２月期事業報告および今後の活動について
第２号議案　2023年度　各部事業計画案・予算案について

報告事項

①会長職務の執行状況報告
②副会長職務の執行状況報告

検討事項

1．理事会の議事の経過の要領およびその結果

（1）定足数の確認等

議長は理事・監事の２分の１以上の出席のため本会議の成立を宣した。

（2）議案の審議状況及び議決の結果等

1．第１号議案：2021年度各部1,２月期事業報告および今後の活動に承認を求める件について

会長より本件に関わる説明がなされ，引き続き各部局ごとに2022年度1,２月期事業報告および今後の活動について、資料の補足説明があった。

議長は出席理事にこれを諮った処、全員一致の賛成をもって議決された。

①会長より　２月10日県の立ち入り調査（監査）があり、財務書類の整備や積極的な事業の実施について評価をしていただけたと報告があった。

②副会長より　高年齢労働者就労支援事業について、来年度は協会からの支援金と、有償契約による事業収入で実施する旨報告があった。

③学術局長より　第29回新潟県理学療法士会各術大会の日程・会場の決定、準備委員会の発足についての報告があった。（2024年２月24日・25日、高田城址公園オーレンプラザ）

④会長より　障がい児・者支援委員会で取り組んでいただいている外部専門家派遣事業についての今後の展開予定の報告あり。県に予算化を働きかけながら、個別の事業所ですでに受けている事業については、実態調査をし、情報を把握していく方針であることを説明した。

⑤副会長より　今年度、深川新市氏が厚生労働大臣表彰に該当し、２月に表彰されたことを報告。また、協会表彰として中林美代子氏を推薦した旨を報告した。

⑥渉外部長より　３月９日に県議会議員との意見交換会を実施した。内容について、会員の協力を得られるように伝えていきたい。

1．第２号議案：2022年度各部事業計画案・予算案に承認を求める件について

会長より、次年度の11の重点目標として、１)士会の組織編成、２）関東甲信越ブロック協議会の運営、３）派遣のためのPTバンクの設置、４）教育領域の支援、５）管理者ネットワーク（ブロックネットワーク）の推進、６）郡市医師会（16医師会）との連携、７）入会者、休会者、退会者への対策、８）県民およびPTに向けた戦略的広報、９）高年齢労働者に対する支援、10）領域別専門部会の促進、11）理学療法連盟との連携および政策提案、について説明があった。

引き続き各部局ごとに2023年度事業計画案の説明があった。財務部長の小林氏より2023年度予算案の説明がなされた。議長は出席理事にこれを諮った処、全員一致の賛成をもって議決された。

①総務部より　次年度総会の日程、理事会の日程を決定し、準備していきたい。また、入会の促進等について、動画の配信なども検討していきたい。

②厚生部より　資料の通り。

③広報部より　資料の通り。

④生涯学習部より　資料の通り。

⑤地域包括ケアシステム推進部より　フレイル事業が本格的にスタートする。会長と協力して実施してきたい。

⑥学術誌部より　副部長に犬飼氏が決まっている。学術誌のデジタル化を進めていきたい。

⑦就業支援部より　来年度部長を長谷川氏に交代する。事業は資料の通り

⑧公益事業部より　コロナ禍の状況を見ながら、対面の事業を展開していきたい。

⑨保険部より　資料の通り。

⑩渉外部より　資料の通り。

⑪スポーツ活動支援部より　学生等のスポーツ活動に限らず、生涯スポーツという観点ももって活動していきたい。学校保健関連事業への支援に関するデータ調査、新潟シティマラソンへの援助方法の検討もしていきたい。

⑫ブロック事業部　ブロック担当者会議（年４回）のうち、１回は総会時の顔合わせ会とし、連携を強化していきたい。上越・中越・下越・新潟西・新潟東・佐渡の各ブロックの事業計画は資料の通り。

⑬災害対策委員会より　資料の通り。

⑭地域活動推進委員会より　来年度の新潟県地域包括ケア専門職協議会の６団体の専門職派遣調整や助言者の育成についての予算が減額になった。それに伴い、６団体全体の助言者の養成研修は廃止、助言者のフォローアップ研修は実施。また各団体の助言者育成研修費を減額する。

⑮学会準備委員会より　第29回学術大会の準備委員会を進めていく。第30回の学術大会は長岡市で開催を予定し、大会長は諏訪氏に決定しているので、こちらも準備をすすめていきたい。

⑯表彰委員会より　資料の通り。

⑰倫理委員会より　資料の通り。

⑱障がい児・者支援委員会より　資料の通り。

⑲政治参加検討委員会より　各ブロック活動において、理学療法士連盟の新会長山根氏などから会員に話していただく時間を設けたいと考えている。支援カードについても会員の理解が得ら

れるよう説明していきたい。

⑳財務部より　次年度の予算について資料を説明。

1．報告事項

①会長より職務執行状況の報告があった。

②副会長より職務の執行状況報告があった。

1．検討事項

①組織図において、各部局に副部長、ブロックにブロック長補佐を置く計画であるが、理事会への参加を必須にするかは、業務負担、経費の面からも検討が必要である。新理事の理事会参加は総会承認後の第３回からとし、それまでは必要に応じてオブザーバーとして参加は可能とする。→理事会は承認した。

②総会の日程に関して、６月18日、25日で調整。会場は検討中。→理事会は承認した。

③理事の連絡ツールについて、現状ではメーリングリストを使っているが、トライアル等で試しながら、有料のビジネスチャットツールを検討していきたい。→理事会は承認した。

④研修会の開催について、ハイブリッドの研修会を企画すると、会場が数名で、オンライン参加の人数が非常に多いという実情がある。今後、ハイブリッド開催は継続しながら、会場参加者にメリットがあるようオンライン参加者との差別化を検討する。→理事会は承認した。

⑤役員選挙の立候補期間が終わり、欠員があるため、理事（補充）として立石学氏を推薦した。→理事会は承認した。

⑥領域別研修会について、新規に呼吸領域の申請があった。別段問題はなく、承認したい。→理事会は承認した。

⑦会員から、定期的な勉強会で県士会契約のzoomのアカウントを貸してもらえないか、という依頼があったが、アカウントの貸し出しは禁止されている。参加者が限られた自主サークル的な勉強会に対しては、県士会として支援金は出しているのでそれで対応していただく。→理事会は承認した。

⑧４月に監事による監査（日程未定）、次年度第１回理事会は、４月23日（日）10：00～実施とする。→理事会は承認した。

会長　佐藤成登志
監事　太田　智英
　　堀川　武範
以上

各位

第39回　新潟シティマラソン2023
～ユニバーサルランとファンランの募集が開始されました！～

スポーツ活動支援部　飯田　　晋

昨年に引き続き、10月８日（日）に開催されます新潟シティマラソンの運営に当県士会が協力をさせていただきます。

ユニバーサルランは当県士会が新設に関わった種目であり、年齢制限が無く、障がいの有無にも関係無く、どなたでも参加できます。ファンラン（10.6km）にも車いすでの参加が可能です。皆様が関わっている方々にも、ぜひご案内・ご紹介いただければ幸いです。

後日、一緒に活動してくださるボランティアスタッフを募集致します。初めての方でも楽しく充実した経験ができ、スポーツ活動支援への理解も一層深まる機会になると思います。経験年数や専門領域等に関係なく、皆様のご協力をお願い申し上げます（昨年12月発行「ゆきわり草No.201」７ページ掲載の参加報告もご参照ください）。

また、大会のチラシとポスターがありますので、必要な方はEメールにてスポーツ活動支援部・飯田までご連絡をお願いします。

■新潟シティマラソン公式ホームページ　https://runfes-niigata.com/

■スポーツ活動支援部　niptasport@gmail.com

学術局生涯学習部だより

学術局長　髙　鳥　　真
生涯学習部部長　田　中　　健

会員の皆様には平素より当士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

■　第29回新潟県理学療法学術大会の開催が決定しました！

第29回新潟県理学療法学術大会の対面での開催が決定しました。前回の第28回大会は有馬慶美大会長（看護リハビリ新潟保健医療専門学校　当時）のもと準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため残念ながら中止されたため、５年ぶりの開催となります。

今大会は、テーマを「『伝える』知識を、技術を、そしてマインドを」としました。

私たちは、日々患者様や、地域の皆様のために活躍することを期待されていると自負しております。一人一人が自覚を持ち、自己研鑽していくことは大切なことですが、先輩の皆様が作り、育ててきた力を借りて、一人ではできないこと、一人ではわからなかったことを「伝えて」行くことが大切だと考えています。

様々な知恵で整理されてきた知識、基礎研究・臨床研究のもとに練り上げられてきた技術を伝えることはもちろん、その底にいつも熱く流れている理学療法士のマインドを伝えていくことこそ、私たちの役目ではないでしょうか。また、患者様や地域の皆様に伝えることのできる力、若い世代や、これから理学療法士になろうとしている人に伝えていく力をつけていきたい、と強く思います。

是非多くの方にご参加いただき、大会テーマである「伝える」ことについて考えていければ幸いです。

（大会長　山本典子）

第29回新潟県理学療法学術大会　開催概要

テ　ー　マ：「伝える」 知識を、技術を、そしてマインドを
開 催 日 程：令和６年２月24日（土）・25日（日）
会　　場：高田城址公園オーレンプラザ
大　会　長：山本典子（上越地域医療センター病院）
準備委員長：荻井夏江（介護老人保健施設国府の里）
準 備 委 員：木賀　洋（県立中央病院）
法山　徹（上越地域医療センター病院）
中田一樹（介護老人保健施設国府の里）
竹田典広（新潟労災病院）
プログラム：大会長基調講演、特別講演、セミナー、シンポジウム、一般演題発表、
企業展示、市民公開講座　等

2023年度新潟県理学療法士会主催研修会　予定

	研修会	テーマ/講師	日程	会場
6月	前期研修A	A-2「協会組織」 A-3「人間関係および接遇」	6月4日(日)	晴陵リハビリテーション学院・Web ハイブリッド開催
	中越ブロック研修	「脳画像から考える理学療法」 講師：吉尾雅春先生（千里リハビリテーション病院副院長 理学療法士）	6月17日(土)	Web開催
	第114回研修会 定期総会	「理学療法に必要な栄養問題の知識とリハビリテーション栄養の基礎」 講師：井上達郎先生（新潟医療福祉大学）	6月25日(日)	看護リハビリ新潟保健医療専門学校・Web ハイブリッド開催
7月	領域別研修会（神経領域）	「脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用」（仮）	7月予定	Web開催
	前期研修A	A-4「理学療法における関連法規」 A-5「理学療法における情報管理」	7月30日(日)	高田城址公園オーレンプラザ・Web ハイブリッド開催

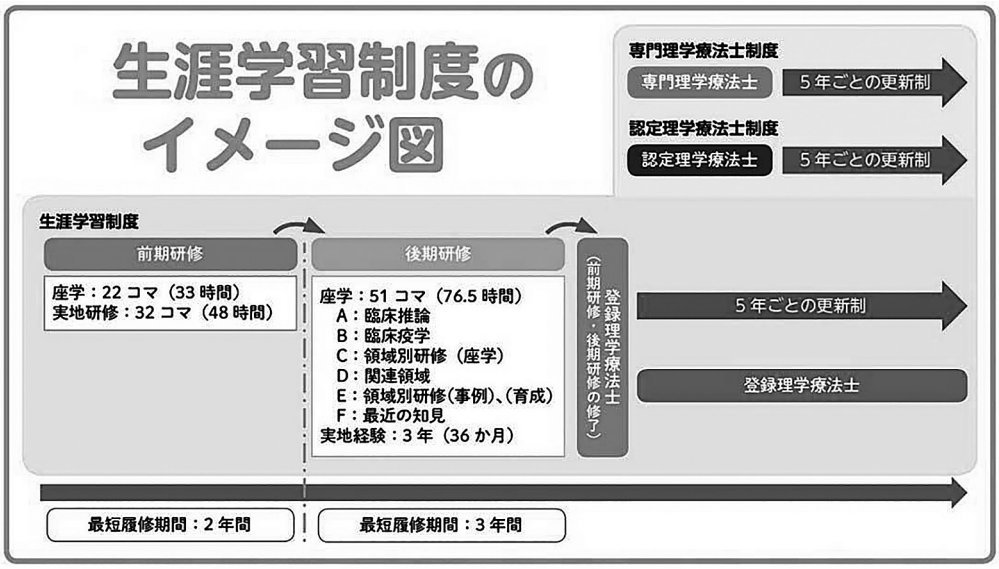
	研修会	テーマ/講師	日程	会場
10月	理学療法士講習会	「介護予防としてのロコモ対策、フレイル対策の実際」（仮）	10月28日㈯	未定
11月	領域別研修会（糖尿病理学療法）	「糖尿病に対する理学療法の基礎と実践」（仮）	11月予定	未定
	領域別研修会（心血管理学療法）	「循環器疾患における病期別理学療法の展開」（仮）	11月予定	未定
12月	領域別研修会（運動器：腰痛）	「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」（仮）	12月16･17日二日間開催	新潟医療福祉大学対面のみ（予定）
2024年1月	領域別研修会（呼吸理学療法）	「病期別呼吸理学療法の展開」（仮）	1月27日㈯	未定
2月	第29回新潟県理学療法学術大会	「『伝える』 知識を、技術を、そしてマインドを」大会長　山本典子 （上越地域医療センター病院）	2月24･25日二日間開催	市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ

2023年度臨床実習指導者講習会

	主催	会場	日程	定員
臨床実習指導者都道府県講習会 各校教員　理事　他	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	同　校	未定	―
	新潟医療福祉大学	同　校	8月24･25日	80
	晴陵リハビリテーション学院	同　校	11月18･19日	80
	県士会学術局	Web	12月9･10日	50
	新潟リハビリテーション大学	同　校	2024年3月2･3日	50

■　新生涯学習制度について

生涯学習制度の概要



〈生涯学習制度の３つのポイント〉

1．日本理学療法士協会（新潟県士会）へ入会した理学療法士は、まず「前期研修」を履修します。その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」となります。

2．「登録理学療法士」となった本会会員は、５年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。

3．登録理学療法士を基盤とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を構築します。

詳しくは、協会ホームページをご確認ください　>>>
https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/

■　**新型コロナウイルス等の感染予防・感染拡大防止への対応について**

当士会主催の研修会実施に際して、感染症予防および感染拡大防止の対策として以下のように対応していきます。

＜当士会の対策＞

研修会に関わるスタッフは、日常における体調管理を徹底し、検温、手洗い、うがい、マスク着用等の感染予防を励行した上で対応をいたします。

＜参加者へのお願い＞

●受付時に体温計測は実施しません。発熱、咳などの症状がある場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします

●参加時のマスク着用は各自の判断でお願いいたします

●会場内には消毒液を設置しておりますのでご利用ください

●受講中に体調の変化が認められた場合は、無理をせずに早めにスタッフへお申し出ください

■　**県士会主催Web研修会への参加方法について（Zoomシステム利用の場合）**

●パソコンもしくはスマートフォンに、Zoomのアプリをインストール（無料）し、登録を済ませてください

●Zoomの使用につきましては、各個人での責任でお願いいたします。接続中は多くの通信量（およそ90分で0.5GB）が必要です。Wi-Fi環境をご確認の上ご利用ください。研修会にかかる通信料金については、県士会は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください

●お申し込み後、申し込み時のメールアドレスへ参加に必要なURL、ID、パスコードをお知らせします。研修会によってはZoomミーティングの事前登録をお願いする場合がございます

●研修会開催日３日前になっても参加に必要なURL、ID、パスコードが届かない場合は、各研修会の問い合わせ先へご連絡ください

●研修会によってはZoomミーティングへの入室方法が異なる場合がございます。各研修会案内をご確認ください

●研修会時に出欠確認を行う場合があります。県士会主催の研修会へ参加の際は、**名前を「会員番号_氏名（フルネーム）」でご登録**ください

●Zoom画面の録画や録音、撮影は一切行わないようにお願いします

●不正行為が確認された場合は、受講を認めずポイント付与にならない場合があります

※メールアドレスの入力不備により参加できない事案が多く発生しております。登録の際はご注意ください

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

参加確認として、協会会員アプリのQRコードを使用する場合があります。協会会員アプリのインストールとログインできるようにご準備ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

※研修会が天候等の事情で止むを得ず中止・延期となる場合は、メールにてご連絡をいたします。協会に登録してある連絡先メールアドレスに送信いたしますので、メールアドレスの登録及び受信可能なアドレスであることを確認してください。また、県士会ホームページに情報掲載を行いますので、必ずご確認ください。

○研修会DVDの貸出しについて

木戸病院　　江川　真司　　E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○新生涯学習制度関連のお問い合わせ

桑名病院　　田中　　健　　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟リハビリテーション病院　　立石　　学　　E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ

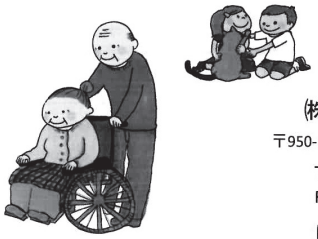
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　　真　　E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園 2-2-19
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025) 381-2000㈹
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
医療関係印刷物はタカヨシで https://www.takayoshi.co.jp

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。

㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL：(025) 281-0303
FAX：(025) 281-0339
田村義肢 検索

リハノメ PT・OT・STのための総合オンラインセミナー
年間200本以上配信！
1ヶ月見放題プラン
通常料金3,080円が
初回限定
980円
お申込はこちら▶
リハビリテーションを『かたち』にする会社 gene
seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 リハノメ 検索

厚生部より 「祝電申込書」についてのお知らせ

県士会では会員の結婚式に際しまして、ご結婚のお祝い電報を送っております。

ホームページ右下の各種様式、または下記から「祝電申込書」をダウンロードして必要事項を記入の上、メールに添付して県士会事務局まで送ってください。

結婚式が決定している会員本人または会員の同僚や友人からでも結構です。

会員の福利厚生のための制度ですので、是非ご利用ください。

祝電申込書：

http://nipta.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/09/2020-syukuden.xlsx

メール宛先：新潟県理学療法士会事務局

E-mail：jimukyoku@nipta.jp

育児休業割引、シニア割引のご案内

■（公社）日本理学療法士協会、（公社）新潟県理学療法士会の年会費には割引制度があります。

■申請は協会マイページの メニュー＞会員管理 ＞ 会費割引申請 からお願い致します。

■「海外会員」割引もございます。

■詳細は協会ホームページをご参照ください。

1．育児休業割引

・【協会年会費・県士会会費（新潟）】割引後 ご請求額 合計 5,000円

・【対象】育児休業期間中に割引申請を行った会員（申請書類が必要です）

・【割引適用年度】申請年度の翌年度の年会費に適用

・育児休業を取得されていない方（退職している等）は対象外です

2．シニア割引

・【協会年会費・県士会会費（新潟）】割引後 ご請求額 合計 5,000円

・【対象】満65歳以上かつ会員歴25年以上の在会会員で割引申請を行った会員

・【割引適用年度】申請年度の翌年度の年会費より適用を開始し、以降自動継続です

事務局ニュース

1　会員の動き「2023年2月～2023年3月集計」

【新入会】・１件
【県内異動】・14件
【転　入】・２件
【転　出】・３件
【休　会】・17件
【復　会】・０件
【退　会】・８件
【育児休暇割引】・４件
【シニア割引】・１件
【施設名称変更】・０件
【施設住所変更】・０件

２　他士会関係

①ニュース（他県士会）

熊 本 県　第141号
長 野 県　No.82
北 海 道　No.234
千 葉 県　第226号　第227号
大 阪 府　第296号
滋 賀 県　No.222
和歌山県　No.98
兵 庫 県　No.198　No.199
静 岡 県　No.197
茨 城 県　No.179
神奈川県　No.295
愛 知 県　No.208
岐 阜 県　No.143 No.144
山 梨 県　No.161
秋 田 県　第208号

②学術誌・学会誌

理学療法兵庫No.28
理学療法―技術と研究―第51号　［（公社）神奈川県理学療法士会］
岐阜県理学療法士会　学術誌　第27号
愛知県理学療法学会誌（プログラム集）
高知県理学療法第29巻

③その他

医学中央雑誌収載誌目録2023（特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会）
令和4年度地域保健総合推進事業報告書（公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会）
愛媛県理学療法士会公益社団法人移行10周年記念誌
法人設立25周年・創立50周年記念誌2022年（公益社団法人神奈川県理学療法士会）
新潟県訪問看護ステーション協議会だより第8号
ふれ愛にいがた23号（社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会）
REGAC Vol.14（公益社団法人広島県理学療法士会）
栄養新潟 ‘23 vol.55（公益社団法人新潟県栄養士会）
ニュースレターNO.24（新潟県難病医療ネットワーク）
秋田県理学療法士会創立50周年記念誌
next STage 第84号（一般社団法人新潟県言語聴覚士会）
老健にいがた第52号2023.2（新潟県介護老人保健施設協会）
Moving vol.47 2022（公益財団法人運動器の健康・日本協会）
響希Vol.15（一般社団法人新潟県介護支援専門員協会）
QOLサポーター新潟No.60（新潟医療福祉大学）
JPTANEWS Vol.341

３　異動・休会・復会・退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。

「育児休業割引」「シニア割引」「海外会員割引」もございます。休退会手続きの前に、協会または県士会ホームページをご確認ください。

※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL:03-6804-1421へお問合せください。

＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページより変更手続きをお願い致します。

［問い合わせ］
〒950-0912　新潟市中央区南笹口１丁目１番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の９：00 ～ 16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

広報部ニュース

メルマガ配信について

新潟県理学療法士会広報部では、「県士会からのお知らせ」をホームページの「会員限定ページ」へ掲載しております。掲載は月１回を基本とし、掲載した情報をメルマガにて配信しています。

１．メルマガ登録方法について

【パソコンまたはスマホから】

クリックして登録

QR コードからでも
登録できます

【メルマガ登録について】
①職場での登録、個人の登録、どちらでも構いません。
②フィルター設定をされている場合は、下記アドレスの登録をお願いします。
admin@nipta.or.jp
③登録は、「会員番号」「氏名」「メールアドレス」を入力していただくだけです。
④登録された内容は、メルマガ発信以外に使用いたしません。
⑤登録後、「承認メール」が届きます。「承認のリンク」のクリックをして登録完了となります。
必ず、承認の確認をお願いします。
⑥メルマガについて、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

２．ホームページへの掲載ならびにメルマガでの情報配信を希望される方へ

各種研修会等の情報をホームページへ掲載ならびにメルマガでの情報配信を希望される場合は、掲載する原稿を作成いただき、下記問い合わせまでメールにてご連絡ください。なお、掲載ならびに配信にあたっては新潟県内の関連団体ならびに新潟県理学療法士会会員が関与する研修会等を基本とし、月１回の定例配信のみとなりますことをご了承願います。

【問い合わせ】
（公社）新潟県理学療法士会　事務局広報部（新潟リハビリテーション大学内）
TEL：0254-56-8292（代表）　Mail：kitamura@nur.ac.jp

編集後記

2023年度がはじまり早２か月が経過しようとしています。この４月に新しく理学療法士となった方、転職されて新しい職場となった方、新たな出会いはいかがでしょうか。新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着き、従来の生活が戻りつつあります。感染に注意しつつ、皆さんと楽しく過ごせる時間が増えることを個人的には期待しています。（Y）

ゆきわり草　No.203
編集責任者　松　林　義　人
問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp